

# 令和5年度 行田市防災会議（書面会議）結果報告

## 1 開催方法

令和5年度行田市防災会議（令和6年2月6日開催予定）は、大雪により、道路状況及び公共交通機関等への影響が懸念されたことから中止とし、書面会議で開催することとした。

会議資料を各委員に送付し、書面表決書を事務局の行田市役所危機管理課へ返送いただき、地域防災計画の改正に対する賛成、反対の意思表明を求める形式で実施した。

## 2 開催期間

令和6年2月9日（金）から2月20日（火）

## 3 委員 36名（別紙「委員名簿」のとおり）

## 4 議事及び表決結果

（1）行田市地域防災計画の改正について

【表決結果】賛成36名 反対0名 ※会長は除く

## 5 委員からの意見と事務局回答

（1）【意見】 改正案の「災害対策本部は、市庁舎305会議室に設置する。ただし、市庁舎が被災し使用できない場合、又は使用できなくなるおそれがある場合は、被災状況等を勘案して市消防本部に設置する。」について、「被災状況等」としてしまうと「おそれ」の場合の判断が難しくなるため、「～又は使用できなくなるおそれがある場合は、想定される被害等を勘案して市消防本部に設置する。」としてはどうか。

【回答】 「被災状況等」を「想定される被害等」と修正いたします。

（2）【意見】 改正案の「東京ガス株式会社埼玉支社」と表記されている箇所について、「東京ガス株式会社・東京ガスネットワーク株式会社」の2社併記をお願いしたい。

【回答】 該当箇所の記載を修正いたします。

（3）【意見】 平成27年7月27日に締結した「災害発生時における行田市と行田市内郵便局の協力に関する協定」に関して、①郵便事業の業務運行管理及びこれらの施設等の保全に関すること②救助用物資を内容とする郵便物等の料金免除及び災害時における郵便葉書等の無償に関することについて、必要に応じて、情報交換の機会を行いたい。

【回答】 災害時において、可能な限り、被災地における郵便の業務が維持できるよう、平時から情報交換の機会を設けてまいります。

（4）【意見】 より多くの人、様々な人たちが訓練に参加し、また繰り返し体験できるような防災事業が行われるとよい。

【回答】 これまで対象者を限定していた防災訓練に代わりに令和6年度は誰でも参加体験できる「防災フェア」の実施を予定しています。また、地域で行う防災講座等について、積極的に関わってまいります。

（5）【意見】 能登半島地震において、本市計画に反映できるところがあれば、盛り込める対応も必要と考える。

【回答】 本計画への反映については、今後すすめられる能登半島地震の検証結果等を踏まえた国や埼玉県の対応を注視して、行ってまいります。

なお、計画に反映されませんが、能登半島地震の報道や被災地に派遣した職員の意見等を踏まえ、備蓄品や生活用水の供給体制について見直し等を行いました。

（6）【意見】 「防災士資格取得支援事業」により防災士資格を取得した市民のスキルをどう維持していくかの施策が必要である。

【回答】 防災士等の防災知識や技能の向上を目的に、3月23日に「防災士研修」の実施を予定しています。引き続き、研修や訓練を継続して行ってまいります。